

□報告□

留学生向け医療専門漢字語彙教材の開発  
—医療系国家試験問題の出現漢字分析を通して—

石鍋 浩\*

抄 録

背景：医療系領域を専攻する留学生は専門語彙の学習面で問題を抱えている。本研究では看護師国家試験（看護国試）と理学療法士国家試験（PT国試）の漢字の出現傾向を親密度から分析し、医療専門漢字語彙学習用教材を作成し、留学生の学習効率化の一助とすることを目的とした。

方法：看護国試とPT国試の漢字の出現傾向の検討および親密度を指標としたレベルの検討を行った。分析結果を基に医療専門漢字語彙の教材を試作した。

結果：看護国試、PT国試とも出現頻度上位500字前後で全体の約90%を占めた。また、両者の親密度の間に有意差はなく類似した出現傾向が認められた。分析結果に基づき国家試験問題を素材とした医療専門語彙学習用教材を作成した。教材には出現頻度や国家試験の問題番号など学習を補助する情報を記載した。

結論：客観的指標に基づく学習目標の提示や教材提供などを通し、医療専門留学生の学習効率化の一助となると考えられる。また、このような指標を通し医療専門ではない日本語教員でも専門語彙教材の作成が可能になることが期待される。

キーワード：医療専攻留学生、医療専門語彙教材、看護師国家試験、理学療法士国家試験、漢字親密度

**Development of study materials to help international students learn  
medical kanji terms based on analysis of kanji in national  
examinations for the health professions**

ISHINABE Hiroshi

**Abstract**

**BACKGROUND:** In Japan, international students in the health sciences have difficulty learning Japanese medical terms. The objective of this research was to investigate the frequency of appearance of specific Japanese kanji in the National Examination for Nursing (NEN) and the National Examination for Physical Therapists (NEPT) and to develop study materials to help international students learn medical kanji terms.

**METHODS:** The author analyzed the frequency of appearance of specific kanji in NEN and NEPT. At the same time, the author evaluated difficulties in vocabulary in NEN and NEPT related to kanji familiarity. Based on the results of this analysis, the author developed study materials to help international students learn medical kanji terms.

**RESULTS:** The top 500 kanji ranked in order of their frequency of appearance in NEN and NEPT were identified, and the results of analysis showed that these kanji accounted for approximately 90% of the kanji in NEN and NEPT. The familiarity of kanji in NEN and NEPT was found to have no significance. Based on these findings, study materials to help international students learn these medical kanji terms were developed. The study materials included appendices providing information such as the frequency of appearance and the question numbers in NEN and NEPT.

**CONCLUSION:** It is suggested that providing learning goals and study materials based on objective criteria will promote more effective learning opportunities for international students. In addition, it is expected that even Japanese teachers who are not medical science experts can develop study materials to help international students in the health sciences learn medical kanji terms.

受付日：2013年9月20日 受理日：2013年12月12日

\*国際医療福祉大学 国際交流センター

Center for International Exchange, International University of Health and Welfare  
steintopf@iuhw.ac.jp

**Keywords** : International students in the health science, study materials for medical terms, National Examination for Nursing, National Examination for Physical Therapist, Kanji familiarity

## I. 背景と目的

経済連携協定 (Economic Partnership Agreement : EPA) による外国人看護師, 外国人介護福祉士の受け入れ開始を契機に, 医療福祉領域における非日本語母語話者を対象とした研究が増加しつつある<sup>1)</sup>. 日本語教育の立場からは看護師の申し送り談話分析<sup>2)</sup>, EPAにより来日した介護福祉士候補生に対する実践報告<sup>3,4)</sup>, 医療専門漢字の出現傾向分析<sup>5-7)</sup> などがある. 医療現場からは外国人看護師の受け入れに対する意識についての報告が行われている<sup>8-10)</sup>.

外国人が医療福祉の専門職に就くためには日本人同様に国家資格を取得しなければならないが, 専門科目学習に加え日本語学習面で困難を抱えている. 「看護と介護の日本語教育」ワーキンググループ<sup>11)</sup>は, 外国人にとっての国家試験の難しさについて分析しており, 特に医療福祉領域の専門用語には「常用漢字表を超えた日本人成人が一読してわからないような難解な漢字語」が多く含まれ, 問題の1つであることが指摘されている. 奥田<sup>12)</sup>では, 看護師国家試験問題の出現語彙について日本語能力試験出題基準<sup>13)</sup>注<sup>1)</sup>からの比較が行われている. 6回の看護師国家試験に出現した延べ36,119語(延べ語彙)は, 10,195種類の語(異なり注<sup>2)</sup>語彙)から構成され, 日本語能力試験級外の語彙が52.8%を占めたことが示されている<sup>12)</sup>. 中川<sup>14)</sup>では, 介護福祉士国家試験を受験するに当たり, どの程度の漢字知識が必要かについての検証が行われている. その結果, 出現頻度の多い漢字497字を学習することによって, 国家試験に出る漢字の90%をカバーしたことが示されている. 一方, 既存の外国人向け介護領域教材で扱われている漢字でカバーされたのは50%程度であったことが示されている<sup>14)</sup>.

奥田<sup>12)</sup>と中川<sup>14)</sup>から, 医療福祉領域の国家試験に対応するためには日本語能力試験範囲内の学習や既存の教材学習などでは対策が不十分であることが示唆されている. 今後は, 医療福祉領域における漢字や語彙

の出現傾向の定量的調査の継続とデータの蓄積や客観的な指標に基づいた教材開発などを行っていく必要がある. 特に, 国家試験への対応を念頭に置いた教材の開発が望まれる. また, 看護・介護だけではなく, その他の医療系領域に関する調査も積み重ねていく必要がある.

そこで本研究では, 看護師国家試験(看護国試)問題および理学療法士国家試験(PT国試)問題の出現漢字を親密度に基づき検討し, 国家試験に対応した漢字語彙の学習用教材を作成し, 留学生の学習効率化の一助とすることを目的とした. なお, 教材はK大学Oキャンパスの留学生を対象として作成した. K大学Oキャンパスには医療福祉領域の8学科がある. このうち看護学科と理学療法学科において多くの留学生を受け入れてきたことから, 看護国試とPT国試を本研究における分析の対象とした.

## II. 方法

### 1. 対象国家試験と漢字出現傾向の検討

看護国試とPT国試5年分の問題を分析の対象とした. 看護国試は, 2007年2月実施の第96回から2011年2月実施の第100回を対象とした<sup>15-19)</sup>. PT国試は2008年2月実施の第43回から2012年2月実施の第47回を対象とした<sup>20)</sup>.

OCRソフト(読取革命 Ver15.01, © Panasonic Solution Technologies Co., Ltd., 1995-2012)を用い, 看護国試とPT国試の問題をテキストデータに変換した. 変換に際し, 1ページをスキャンするごとに誤変換の有無をPCモニター上で目視し訂正を行った. 取り込んだテキストデータから漢字のみを抽出した基礎データを作成した(以下, 国試漢字基礎データ). 国試漢字基礎データを基に看護国試とPT国試出現漢字の延べ字数と異なり字数をカウントし, 出現頻度別の使用率を検討した.

## 2. 漢字親密度の抽出と領域間の親密度の比較

国試漢字基礎データの漢字親密度を抽出した。漢字親密度はある漢字をみた時の「なじみ」の程度の評定値である。単語親密度との相関も認められており、漢字や語彙の難易度を定量的に示す指標としての利用も期待されている<sup>21)</sup>。親密度の抽出は、NTT データベース日本語の語彙特性 SSD Srch バージョン 1.00 (© SANSEIDO Co., Ltd., 2008; 以下 SSD) を使用した。SSD は、日本工業規格に定められた文字から罫線素片を除いた全ての文字 (6,847 字) を評定対象としている。評定は、低 (1)~高 (7) の7段階で行われた。SSD 全文字から、ひらがな、カタカナ、ローマ字およびその他の特殊文字を除いた漢字 6,355 字の親密度は、平均 3.68, 標準偏差 0.35 であった<sup>21)</sup>。本研究では、この 6,355 字を国試漢字基礎データ抽出のための資料とした。

国試漢字基礎データの親密度抽出後、看護国試と PT 国試の異なり漢字 (以下、異なり) の親密度の差の検定を実施した。検定は、Mann-Whitney の U 検定を用いた。また、看護国試と PT 国試出現漢字がどの程度一致するか検討した。

看護国試と PT 国試において、一致して出現した漢字が留学生対象の教材作成の基礎資料として妥当かどうか検討した。留学生が大学において学習する際の基礎となる日本語能力は、一般的に日本語能力試験の 1 級程度であると言われている。そこで、日本語能力試験 2 級 (1,023 字) と 1 級 (903 字) の漢字親密度との比較を通してレベルの検討を行った。検定は Kruskal Wallis 検定を行った後 Bonferroni 補正による多重比較を行った。次に、看護国試と PT 国試において一致して出現した漢字の分布を検討した。

## 3. 教材の作成

看護国試と PT 国試の親密度分析結果に基づき教材を作成した。教材作成に当たり次の 6 つの方針を立てた。(1) 国家試験問題自体を学習素材とする。(2) 主に学部 1, 2 年次の留学生が日本語クラスで使用する教材とする。(3) 1 学期 (週 1 回 × 15 週) で学習が

終了する分量とする。(4) 1 日の標準的な学習時間を 1 時間程度とする。(5) 学習語彙の出現頻度や難易度の情報を提供する。(6) 索引を付け語彙検索機能を持たせる。

(1) の方針に従い、看護国試と PT 国試において一致して出現した漢字から成る語彙を国家試験からピックアップすることとした。(2) の方針に従い、学部生が使用する教材としてのレベルと学習項目の妥当性を検討した。(3) と (4) の方針に従い、学習語彙数と教材の構成を決定した。(5) の方針に従い、教材に必要な情報を盛り込むこととした。(6) の方針に従い巻末に索引を作成した。

## III. 結果

### 1. 対象国家試験と漢字の抽出

国試漢字基礎データ検討の結果、看護国試の出現漢字は延べ 49,872 字、異なり 1,499 字であった。PT 国試の出現漢字は延べ 44,393 字、異なり 1,356 字であった。

図 1 は看護国試漢字と PT 国試漢字の出現頻度順使用率である。横軸は出現頻度順位、縦軸は使用率を表している。看護国試出現漢字の出現頻度順使用率を検討したところ、異なり 1,499 字のうち出現頻度上位 555 字の段階で全体の 90% を、上位 734 字の段階で全体の 95% を占めた。PT 国試出現漢字の出現頻度順使用率を検討したところ、異なり 1,356 字のうち上位

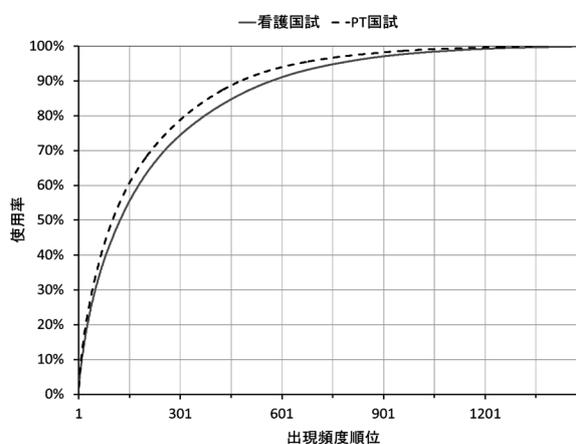


図 1 看護国試漢字と PT 国試漢字の出現頻度順使用率

467字の段階で全体の90%を、上位622字の段階で全体の95%を占めた。上位1,000字の段階をみると、看護国試は全体の98%を、PT国試は全体の99%を占めた。

2. 漢字親密度の抽出と出現傾向の検討

表1は、看護国試異なり1,499字とPT国試異なり1,356字の親密度結果一覧である。SSDを用い国試漢字基礎データの親密度を抽出した結果、看護国試異なり1,499字の親密度は、平均5.67、標準偏差0.88、PT国試異なり1,356字の親密度は、平均5.66、標準偏差0.91であった。両者の親密度のばらつきに正規性は認められなかった(ともに $p < 0.001$ )ため、Mann-WhitneyのU検定を実施した。その結果、看護国試異なり親密度(中央値5.87)とPT国試異なり親密度(中央値5.92)に有意差は認められなかった( $p=0.579$ )。

看護国試異なり1,499字とPT国試異なり1,356字のうち1,184字が一致した(以下、一致1,184字)。一致1,184字および日本語能力試験1級(903字)、2級(1,023字)の漢字親密度を抽出した結果、一致1,184字の親密度は平均5.76、標準偏差0.83、1級は平均5.40、標準偏差0.47、2級は平均6.12、標準偏差0.35であった。全てにおいてばらつきに正規性は認められなかった(いずれも $p < 0.001$ )。そのため、一致1,184字と日本語能力試験1級、2級の親密度の差の検定は、Kruskal-Wallis検定を用いた。その結果、一致1,184字(中央値5.96)、1級(中央値5.46)、2級(中央値6.12)の親密度の差は有意であった( $p < 0.001$ )。多重比較の結果、親密度の差はすべて有意であった(Bonferroni補正による $p$ 値はすべて $p < 0.01$ )。一致1,184字の親密度のレベルは日本語能力試験1級から2級の間であると考えられた。図2は、一致1,184字、1級、2級の

表1 看護国試異なり1,499字とPT国試異なり1,356字の親密度結果一覧

	異なり字数	親密度		
		平均	標準偏差	中央値
看護国試	1,499字	5.67	0.88	5.87
PT国試	1,356字	5.66	0.91	5.92

の親密度の分布である。各項目横棒は中央値である。1級において親密度の低い2字(璽:1.96と崇:2.96)は一致1,184字には存在しなかった。この「璽」と「崇」を除いた場合、1級は親密度6.54から3.75の範囲に分布した。一方、一致1,184字において親密度3.75以下の漢字は54字であり、日本語能力試験の範囲を超える漢字が出現していた。

3. 教材の作成

1) 単漢字の選択

教材作成方針(1)より、一致1,184字が含まれる看護国試とPT国試の問題本文を教材作成のための最終的な素材とした。方針(2)においては学部生が使用する教材としたが、医療系の学部留学生は入学直後から専門科目を履修し、外国人の一般的な日本語学習範囲を超える内容が多く含まれる<sup>12)</sup>。そのため、学習項目は一致1,184字のうち1級のレベルを超える項目54字(図2)を中心に親密度の低い順にピックアップすることとした。

方針(3)に基づき単字数を検討した。1学期15週で学習を完了させるため、進度の遅れなども考慮し教材を12課から構成することとした。方針(4)に基づき学習語彙を構成する漢字数を検討した。1日の標準的な学習時間1時間に対応可能な範囲とするため、学

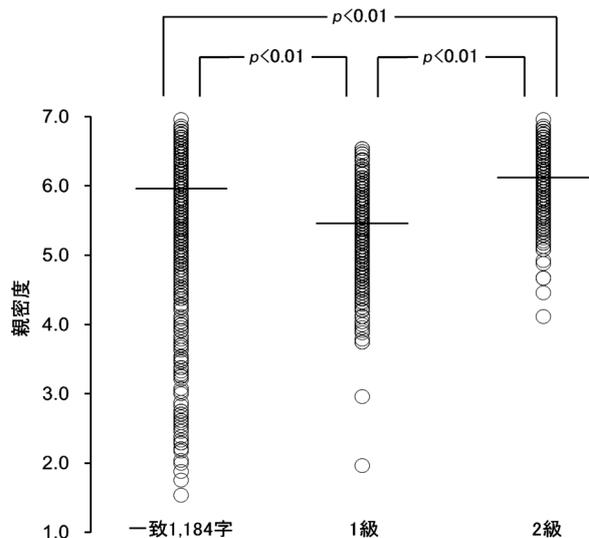


図2 一致1,184字、1級、2級の漢字親密度分布(各項目横棒は中央値)

習語彙を構成する漢字を1日当たり5字とした。教材は12課から構成されるため、教材使用期間は12週とした。各週7日あるうち、5日を新規項目学習日、1日を復習日、1日を授業日と位置づけた。したがって、1つの課は1日目～5日目の新規項目学習と6日目のまとめから構成した。以上の方針に従い、1日当たり単漢字5字×週5日×12週=300字を学習語彙を構成する単漢字とした(ターゲット300字、以下T300字)。T300字は一致1,184字のうち親密度の低い漢字から300字を選択した。表2は、T300字の一覧である。なお、教材における導入はT300字のうち親密度の最も高い「訴」から最も低い「鬆」の順とした。

2) 学習語彙の選択

T300字から構成される語彙を国家試験の問題から選択した。領域による偏りが生じないように1つの単漢字に対し看護国試とPT国試から1語ずつ合計2語

を学習することとした。したがって、1日の学習語彙数は10語とした(単漢字5字×2領域=10語)。

(1)の方針に従い、学習項目は全て国家試験に出現した語彙とした。例文も全て国家試験の過去問題を使用した。出現頻度の低い漢字や使用が限定される専門用語の場合、看護国試とPT国試において同一の語彙が学習項目となる場合があった(例:葛藤)。T300字から成る語彙を、看護国試とPT国試から原則1語ずつ選択した結果、延べ600語、異なり496語となった。表3に選択した語彙の一例を示す。表3はT300字のうち親密度の低い55字分、110語を昇順で示している。

3) 学習に必要な情報の記載と教材の構成

(5)の方針に従い、学習語彙の出現頻度や難易度の情報を記載した。(6)の方針に従い、導入順および50音順の索引を付した。図3は、教科書冒頭の学習者向け説明ページである。第1週1日目の学習項目

表2 学習語彙を構成する単漢字300字(T300字)

訴	傾	肝	盤	隔	吐	補	被	肥	避	徑	煙	怠	停	帽	虚	偽	焦	審	默	概	威	猿	籍	錢	腸	抵	壞	粗
撮	履	趣	杵	竟	邪	衰	旦	療	撰	維	端	鎖	距	獲	携	忌	鈍	締	涉	眉	惑	积	孤	嘆	妊	胎	核	併
緩	奮	濃	循	露	購	晶	塗	載	襲	恒	磁	候	垂	摘	廢	驅	沢	潜	栓	軸	喫	偏	尿	股	旋	肪	睡	軟
析	索	狭	掌	粘	減	縫	逸	跳	敷	幽	抽	臟	裂	鎮	把	呈	慮	礎	踏	絞	噴	殊	碎	胞	慢	菌	棟	洞
擦	紹	凝	渴	鷄	陳	僚	遍	茎	杖	尋	絡	孔	顯	殖	該	懸	叩	排	随	棄	銘	潤	衡	肢	腎	靴	覆	阻
剖	凹	醇	磨	吟	搬	娠	拭	袖	膜	疫	岐	陷	昏	蹴	鼓	葛	髓	括	咳	郭	胆	潰	鍵	箇	塞	頻	白	肛
膨	剩	殼	膝	疾	椅	虐	塊	較	蒼	肘	泌	拘	瞭	枢	唾	漸	椎	遮	獎	柵	硝	膳	蝶	癌	妄	汎	膚	粥
奔	腺	喉	挫	碗	腫	坐	槽	貪	醒	又	拳	蓋	尖	疹	痢	貌	塵	萎	腔	斑	箸	臥	咽	膿	膀	癒	弛	燥
肋	腋	扁	頸	梢	捻	鼠	脊	梗	臄	泄	踵	嗅	瘍	痺	腿	嘔	喘	媿	瘡	肱	棘	倦	窄	叢	顎	瘤	蛋	罹
錐	剥	穎	脛	疼	臉	趾	頰	咀	亢	膠	絨	坭	痰	咯	嚙	扼	瘻	褥	嚼	拮	脹	跛	癬	嗽	囊	腓	腓	蛄
蠕	癩	橈	窩	疥	攀	漿	臍	渣	鬆																			

表3 学習項目となる語彙の例(T300字のうち親密度の低い55字分、110語、親密度昇順)

潰瘍	腫瘍	片麻痺	分娩麻痺	大腿動脈	大腿義足	嘔吐	嘔気
喘鳴	喘息	娩出	分娩	褥瘡	褥瘡	膀胱	膀胱尖
臍棘線	頸椎棘突起	倦怠感	倦怠感	幽門狭窄	狭窄	常在菌叢	神経叢
下顎呼吸	顎関節	動脈瘤	動脈瘤破裂	尿蛋白	血清総蛋白	罹患	罹患
錐体外路	錐体外路徴候	網膜剥離	剥離骨折	上腕骨顆	大腿骨内側顆	前脛骨	脛骨骨折
疼痛	疼痛	眼瞼	上眼瞼挙筋	第一趾	外反母趾	頬	頬骨
咀嚼	咀嚼筋	亢進	亢進	神経膠腫	膠原線維	緘黙状態	選択性緘黙
水疱	带状疱疹	腎盂	腎盂	喀痰	排痰法	咯出	咯血
誤嚥	嚥下	絞扼	絞扼	瘻癰	瘻直	産褥期	褥瘡
咀嚼	咀嚼筋	拮抗作用	拮抗筋	腫脹	腫脹	間欠跛行	跛行
疥癬	乾癬	咳嗽	咳嗽	胆嚢	骨嚢胞	急性腓炎	腓臓
腓骨	脛腓靭帯	蠕動	蠕動	癩痕	癩痕	橈骨動脈	橈骨
心窩部痛	腋窩	疥癬	疥癬	瘻癰	瘻縮	漿膜	血漿
臍高	臍部	食物残渣	残渣	骨粗鬆症	骨粗鬆症		

1～4を抜粋し、その説明を付した。「1. この課で学習する語彙の情報」では、学習語彙を構成する単漢字に通し番号を付した。過去5年間の看護国試とPT国試の問題における出現頻度および領域における出現割合を付した。単漢字の親密度を「難易度」として記載した。単漢字の音読みと訓読みを記入する欄を設けた。単漢字から成る学習語彙を下段に配し、読みと意味を記入する欄を設けた。単漢字通し番号に加え、2つの学習語彙にaとbの識別子を付した。通し番号+識別子を学習語彙のID番号とした。「2. 書いて覚えよう」では、学習語彙をランダムに並べ替え、漢字の書き方を確認する練習とした。確認のために、ひらがなの後ろの丸括弧内にID番号を記載した。「3. 国試の例を

確認しよう」では、国家試験の問題において学習語彙がどのように使われているかを示し、読みを記入する欄を設けた。例文の後ろ隅付き括弧内に国家試験問題の出典を記載した。【ns99am84】は看護国試第99回午前84番を表す。「4. 練習 例のように適切な漢字を記入してください」では、「3. 国試の例を確認しよう」をランダムに並べ替え、学習漢字を記入する練習とした。

図4は、6日目の練習問題と索引の抜粋である。A「まとめの問題」は、1日目から5日目までに学習した漢字を含む語彙を国家試験からピックアップした後、ランダムに配置した。B「さくいん(番号順)」は、導入順に語彙を配列し、漢字の読み方を記入する欄を

☆1日に学習する項目 (見開き2ページ, 1~4まで)

通し番号

学習語彙に含まれる漢字

国試出現度数と領域別出現割合

学習語彙に使用する漢字の難易度 難1⇔7易

第1週: 1日目

1. この課で学習する語彙の情報

No	漢字	頻度		割合		難易度	読み			
		NS	PT	NS	PT		音	訓	訓	
1	訴	73	7	91%	9%	5.54				
1	語彙		読み				意味			
	a 主訴									
	b 訴える									

学習語彙

学習語彙を漢字で書いてみましょう

読みと意味の記入欄(予習しましょう)

2. 書いて覚えよう

語彙 (No)	漢字
かんだうみやく (3a)	
うったえる (1b)	
かんかく (5a)	

3. 国試の例を確認しよう

1a. 58歳の男性。腹痛と腹部膨満とを(主訴( ))に救急外来を受診した。【ns99am84】

1b. 統合失調症に特徴的な(訴え( ))はどれか 【pt44pm96】

**国試出典**  
 【ns99am84】は看護第99回午前84番

4. 練習 例のように適切な漢字を記入してください。

例. 国家(試)験の問題を読んでみよう。

- 右大腿動脈からの( )動脈塞栓術施行後の対応で適切なのはどれか。
- 退院後、Aさんは痛みが強( )なってきた。外来でオキシコドン塩酸塩除錠が増量されていた。その後、全身状態が悪化し( )眠( )向がみられるようになった。

この日のまとめです。学習した語彙を思い出しながらか問題を解いてみましょう。

図3 教科書冒頭の学習者向け説明ページの例



目次	
第1週	4
1日目	5
1. 学習語彙の情報	5
2. 書いて覚えよう	5
3. 国試の例を確認しよう	6
4. 練習	6
2日目	7
1. 学習語彙の情報	7
2. 書いて覚えよう	7
3. 国試の例を確認しよう	8
4. 練習	8
略	
6日目	15
まとめの問題	15
略	
第2週	16
略	
卷末資料	
さくいん (番号順)	148
さくいん (五十音順)	156
まとめの問題答え	163

図5 教材の目次 (抜粋)

## 2. 漢字親密度の抽出と出現傾向の検討

看護国試に出現する語彙の調査<sup>12)</sup>や介護福祉士国家試験の出現漢字の検討<sup>14)</sup>など、領域別の検討はこれまでも行われているが、複数の国家試験問題間の比較は行われていない。本研究において2種類の国家試験問題(看護国試とPT国試)について検討した結果、看護国試とPT国試の出現漢字の漢字親密度に差は認められなかった。また、看護国試異なり1,499字とPT国試異なり1,356字のうち1,184字が一致するなど多くの漢字が共通した。ここから、看護国試問題とPT国試問題を留学生のための教材の素材として同等に扱うことが可能であると考えられる。

一致1,184字の親密度を検討したところ、日本語能力試験2級レベルから1級レベルに対応していた。一方、1,184字の分布をみたところ日本語能力試験の出題範囲を超える漢字が多く出現していた。1級において親密度の低い2字(1.96と2.96)を除いた場合、親密度6.54から3.75の範囲に分布した。一致1,184字において親密度3.75以下の漢字は54字出現した。看護国試において日本語能力試験出題範囲を超える語彙

が多く出現していた研究<sup>12)</sup>との類似がみられる。留学生を対象とした教材においては、日本語能力試験の出題範囲を超える項目を優先的に学習すべきと考えられる。

## 3. 教材の作成

中川<sup>7)</sup>は、日本語能力試験2級程度の学習者を対象に、出現頻度から基礎医学領域において優先的に学習すべき漢字267字のリストを示している。本研究では、学習語彙を構成する単漢字300字を選定した。出現頻度や学習時間数などを基準にすることにより具体的な目標値を学習者に提示することが可能であると考えられる。一方、T300字と中川<sup>7)</sup>の267字で一致したのは137字であった。選定基準の違いが異なる分布となった一因と考えられる。授業で使用する際には、どのような基準で選定された教材なのかを教師が把握しておく必要があると考えられる。

教材では、全て国家試験に出現した語彙を学習項目とした。日本において医療従事者として働くためには国家資格を取得しなければならず、国家試験は学習者にとって将来必要とされる言語行動の一部であると指摘されている<sup>12)</sup>。学習者が将来必ず受験する国家試験を素材とした教材は、医療専門日本語教育における学習支援策の1つとなり得ると考えられる。

T300字を基にした学習語彙は、重複する語彙(例、葛藤)も出たため、異なり496語となった。奥田<sup>12)</sup>では、看護国試に出現する専門性の高い語の半数以上が過去5回分に使用されている語とまったく同じで、使用される語は限定的であると指摘されている。本研究においても、医療系国家試験における同様の傾向が現れたと考えられる。

## V. 結語

看護国試とPT国試の漢字出現傾向を検討した。結果、看護国試とPT国試ともに出現頻度上位500字前後で全体の90%を占め、限られた漢字が繰り返し出現する傾向がみられた。看護国試とPT国試の出現漢字の親密度を検討したところ、両者に差は認められず、

多くの漢字が一致した。

漢字親密度分析結果を基に看護国試とPT国試の問題を使用した漢字語彙学習教材を作成した。教材には学習語彙に含まれる漢字の出現頻度、難易度、出典となった国家試験の問題番号などの学習を補助する情報を盛り込んだ。また、導入順、50音順の索引を付け検索機能も持たせた。客観的指標に基づく学習目標の提示と学習者への教材提供を通し、医療系領域を専攻する留学生の学習効率化の一助となると考えられる。また、このような客観的な指標を利用することにより、医療専門ではない日本語教員でも国家試験対応を念頭に置いた専門語彙教材の作成が可能になることが期待される。

今後、教材を実際に授業で試用し、有用性についての検証を行う必要がある。今回は、調査の性質上外来語は対象外であったため、異なる語種の学習教材の開発も進めていく必要がある。

## 文献

- 1) 宇佐美洋. 「社会」分野—研究観の再考と拡張を促すための原動力として—. 日本語教育 2012; 153: 55-70
- 2) 永井涼子. 看護師による「申し送り」会話の談話管理—スタイルシフトを中心に—. 日本語教育 2007; 135: 80-90
- 3) 登里民子, 石井容子, 今井寿枝ら. インドネシア人介護福祉士候補者を対象とする日本語研修のコースデザイン—医療・看護・介護分野の専門日本語教育と関西国際センターの教育理念との関係において—. 国際交流基金日本語教育紀要 2010; 6: 41-56
- 4) 登里民子, 永井涼子. 介護福祉士候補者を対象とする「申し送り」聞き取り授業の実践報告. 日本語教育紀要 2011; 7: 85-101
- 5) 石鍋浩. コメディカル専門語彙に使用される漢字の出現傾向調査—留学生向け学習漢字の選定とワークブックの試作—. 国際医療福祉大学紀要 2007; 12(2): 63-71
- 6) 石鍋浩. 医療福祉領域日本語学習者のための選定学習漢字の評価—専門科目の授業場面における検討—. 茨城大学留学生センター紀要 2010; 8: 53-64
- 7) 中川健司. 基礎医学述語を学ぶ上で優先的に学習すべき漢字の選定の試み—漢字語及び基礎医学術語中の出現漢字傾向調査を基に—. 日本語教育 2010; 145: 61-71
- 8) 宮野真理子, 丹野かほる. 外国人看護師受入れに関する研究—外来受診者の外国人看護師からケアを受けることに対する意識調査—. 第39回日本看護学会論文集(看護総合) 2008: 104-106
- 9) 堀田かおり, 丹野かほる. 外国人看護師受入れに関する研究—看護職者の外国人看護師との協働に対する意識調査—. 第39回日本看護学会論文集(看護総合) 2008: 107-109
- 10) 川口貞親, 平野(小原)裕子, 大野俊. 日本全国の病院における外国人看護師受け入れに関する調査(第1報)—結果の概要—. 九州大学アジア総合政策センター紀要 2009; 3: 53-58
- 11) 日本語教育学会「看護と介護の日本語教育」ワーキンググループ. 2010. 介護福祉士国家試験問題の日本語の難しさについて考えるための基礎資料(改訂版)—第21回・第22回試験の全問分析結果のまとめ—. <http://www.nkg.or.jp/kangokaigo/images/kisoshiryou-v2.pdf> 2013.08.01
- 12) 奥田尚甲. 看護師国家試験の語彙の様相—日本語能力試験出題基準語彙表との比較から—. 国際協力研究誌 2011; 17(2): 129-143
- 13) 国際交流基金・国際教育支援協会. 日本語能力試験出題基準改訂版. 東京: 凡人社, 2006: 7-9, 42-50
- 14) 中川健司. 介護福祉士候補生が国家試験を受験する上で必要な漢字知識の検証. 日本語教育 2010; 147: 67-81
- 15) 系統看護学講座編集室編. 系統別看護師国家試験問題解答と解説 2008年版. 東京: 医学書院, 2007
- 16) 系統看護学講座編集室編. 系統別看護師国家試験問題解答と解説 2009年版. 東京: 医学書院, 2008
- 17) 系統看護学講座編集室編. 系統別看護師国家試験問題解答と解説 2010年版. 東京: 医学書院, 2009
- 18) 系統看護学講座編集室編. 系統別看護師国家試験問題解答と解説 2011年版. 東京: 医学書院, 2010
- 19) 系統看護学講座編集室編. 系統別看護師国家試験問題解答と解説 2012年版. 東京: 医学書院, 2011
- 20) 医歯薬出版編. 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 2013 第43-47回. 東京: 医歯薬出版, 2012
- 21) 近藤公久, 天野成昭. NTT データベースシリーズ 日本語の語彙特性 第5巻 文字特性. 東京: 三省堂, 2000: 19-56

注1 日本語能力試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験である。国際交流基金と日本国際教育支援協会が共催している。2009年までの旧試験では、1級を最上級とし、以下2級、3級、4級の4つのレベルから構成されていた。1級の認定レベルは、語彙数10,000語程度、漢字数2,000字程度とされていた。2010年から実施されている新試験ではN1を最上級とし、N2、N3、N4、N5の5つのレベルから構成されている。旧試験においては出題基準が公開されていたのに対し新試験においては非公開となっている。

注2 「延べ」は出現した語や文字の総数を、「異なり」は言語資料の総数がいくつの語から成り立っているかを示す。例えば、ある言語資料が総数10,000語、3,000種類の語から成り立っている場合、「延べ10,000語、異なり3,000語」のように記述する。